

JA ほこた苺部会研究部意見交換会を開催しました

令和6年8月28日（水）、銚田市のJAほこた営農情報センターにおいて、JAほこた苺部会の研究部を対象とした意見交換会を開催しました。

9月から開始されるイチゴの定植を直前に控えた重要な時期を迎え、普及センターからは本年の気候や定植前後における管理上のポイントや、花芽検鏡に基づく適期定植の必要性について情報提供を行ったのち、参加者間で育苗状況や病害虫の発生状況について情報共有が行われ、抱えている問題への効果的な対策について活発に意見交換が行われました。

本年度は昨年に引き続き気温が高く、病害虫の発生も多いことから、育苗管理に苦労している様子が伺われましたが、生産者は様々な対策を講じて必要な苗数の確保と、品質の良い苗作りに努めています。

普及センターでは引き続き、イチゴの生産性向上につながる技術の普及を図るとともに、花芽検鏡等の必要な支援をおこなうことで、イチゴ生産者の所得向上を支援していきます。

銚田普及センター（成長産業）